

# 地方創生推進交付金等を活用した事業の実施状況報告

## 地方創生推進交付金

NO.	交付対象事業の名称	概要	支出内容	主な取組内容及び成果	今後の課題及び方向性	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				外部有識者からの評価	
						指標	基準値 (H26)	目標値 (H30)	実績値 (H29)	事業の評価	外部有識者からの意見
1	新たな魅力の創造と発信による交流・転入促進事業	子育て世帯や転入意向のある世帯などのターゲットごとに魅力を伝えるため、効果的なシティブロモーションの方法を検討し、従来の広報や広告による発信型のシティブロモーションから、ターゲットの直接的なイベント等への参加を誘導し、来街者の増加を図る参加型のシティブロモーションへと深化させることで、交流人口の増加を図る。	シティブロモーションに係る委託等 ・住宅・結婚・観光関連サイトなどを活用したシティブロモーション事業委託料等 ・市民参加型フェイスブックの運営に係るシステム使用料等 ・シティブロモーションサイト等の運営に係る業務委託料等 のせでんアートライン妙見の森負担金	住宅・結婚・観光関連サイトなどを活用したPRを実施 (PR/バナークリック数:12,444回) 市民参加型フェイスブックによる情報発信を行うとともに、利用者を対象に交流会を開催(フォロワー数:約1,000人) 観光デジタルガイドブック「かわにしさんぽ」の発行(発行回数:1回) 市公式インスタグラム「かわにしさんぽ」の開設(フォロワー数:約1,300人、投稿数:79件) FM放送を活用したPRの実施(FMCoCoLo20分番組:17回、FM802:60秒CM32本、コメント数:2,343通)	本市の魅力の認知度の向上に加え、交流・定住人口の増加につなげる地域イベント誘導型のシティブロモーションの展開 HPやSNSなどのチャネルを用い、日本一の里山「黒川」をはじめとする観光資源等をPRするシティブロモーションの展開 まちの賑わいの創出に向けたイベント等への支援の充実 のせでんアートラインやまちなか美術館などのイベントとの連動による効果的なシティブロモーションの展開	指標 転入者数	5,792人	5,900人	5,329人	総合戦略のKPI達成に有効であった	川西市は都心とのアクセスが良く、自然もあり、魅力があるまちである。若い世代がどのような部分を魅力として感じて、川西市を訪れ、そして、住んでみたいという思いにつながっていくか検討する必要がある。
指標 シティブロモーション専用サイトアクセス件数	20,208件	76,000件	128,084件								
指標 観光客入込数	2,092千人	2,300千人	2,435千人								
2	若者・女性を中心とした新たな雇用の創出と産業活性化事業	女性を対象として、クラウドソーシングの活用や、起業に関心のある段階から起業後の事業の展開まできめ細かなフォローアップを展開することで、起業しやすい、働きやすい環境を創出するとともに、39歳以下の勤労意欲があっても就労できていない若者を対象にハローワークと連携して就労体験を提供し、経験やビジネスマナーを獲得してもらったことにより、市内就業率の向上を図る。	在宅就業促進支援事業委託料 男女共同参画カレッジ委託料	川西しごと・サポートセンター内に就労体験コーディネーター(キャリア・コンサルタント)1名を配置 ハローワークとの連携により市内外(基本的には近隣)の求人情報の提供を受け、受入事業所を開拓(実績:35事業所) 市内在住の39歳以下の未就職者を対象に、受入事業所での就労体験を経て、就労に結び付ける事業の実施(体験参加人数:22人、内定者:19人) 多様な形で就労を支援するため、 ・クラウドソーシングサテライト講座(参加者数:13名) ・オンライン座談会・コワーキングスペース(参加者数:14名) ・ライティング中級講座(参加者数:8名) ・オンラインサポート(参加者数:13名) 女性の起業しやすい、働きやすい環境を創出するため、川西女性起業塾を実施 ・プレセミナー(1回) ・ベシックセミナー(年8回(3時間/1回)、16名参加) ・ステップアップセミナー(年3回(2時間/1回)、21名参加) ・女性起業塾1期生との交流会の実施(年1回、17名参加) ・創業関連情報の発信 女性の新たなライフスタイルの確立を支援するため、男女共同参画カレッジを開催(延べ参加者数:148人)	就労支援の成果拡大に向けた制度利用者の確保 広報等による制度の周知の徹底 新しい働き方の機会の周知徹底 クラウドソーシングによる新しい働き方を広報等で周知拡大 起業支援に係る多様なニーズへのきめ細やかな対応 川西女性起業塾について、様々な段階の方に興味を持っていただけるようニーズに合わせたセミナーの開催を増やすことにより、起業までの総合的な支援を展開 女性の新たなライフスタイルの確立に向けた継続的な支援 男女共同参画カレッジの開催による女性の新たなライフスタイルの確立に向けた継続的な取組みの実施	指標 若年者就労者数 30代まで、一体的実施事業を通じて就職した若年者及び若年者就労体験事業を通じて就職した若年者	96人	116人	130人	総合戦略のKPI達成に有効であった	新たな雇用の創出に向けて、女性の起業支援をおこなっているが、今後は起業したい女性がどのような支援を求めているのかを把握した上で、事業を展開する必要がある。
指標 女性の起業数	0件	6件	3件								
指標 在宅就労登録者数	0人	70人	96人								
3	日本一の里山「黒川」観光まちづくり事業	古民家の活用やダリヤや菊炭、栗といった特産品を活用した地域ブランドの開発、地域の交流などにより地域活動の活性化を図るとともに、里山体験学習をはじめ、里山イベントを開催するなど観光施策を展開し、交流人口の増加を図るとともに、持続可能かつ自主的な地域づくりをめざす。	古民家活用に係る検討支援業務委託料 川西市観光PR媒体作成業務委託料 秋里2017作製業務委託料 春里2018作製業務委託料 黒川観光組織づくりプロデューサー支援業務委託料 黒川観光まちづくりに係る組織づくり支援業務委託料 組織づくりプロデューサー事業に伴う負担金(全国事務局への負担金)	黒川観光まちづくりについて、黒川地区等の観光マップ「秋里」(発行部数:25,000部)、「春里」(発行部数:26,000部)を発行したほか、大学と地域が連携した取組みを展開 様々な地域資源、観光資源を活用した観光まちづくりの具体的推進 黒川地区における黒川ダリヤ園の整備実施や観光プロモーションの展開、里山センターの整備に向けた準備 まちの賑わいの創出に向けたイベント等への支援の充実 のせでんアートラインやまちなか美術館などのイベントとの連動による効果的なシティブロモーションの展開 「のせでんアートライン2017 里山の学校芸術祭」の開催(開催期間:夏のワークショップ7月22日~8月27日の土日、収穫祭10月28日~11月5日、来場者数:約5,000人)	指標 (仮称)黒川観光まちづくり会社の収益額	0	8,700千円	0	総合戦略のKPI達成に有効であった	黒川地区の地域資源を活かして、活性化につながる効果的な事業を展開していく必要がある。また、まちづくりを進めていく上では、若者をターゲットとした視点も重要である。	
指標 (仮称)黒川観光まちづくり会社の従業員数	0	22人	0								
指標 観光客入込数	722,000人	762,000人	-								

## 地方創生拠点整備交付金

NO.	交付対象事業の名称	概要	支出内容	主な取組内容及び成果	今後の課題及び方向性	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				外部有識者からの評価		
						指標	基準値 (H27)	目標値 (H33)	実績値 (H29)	事業の評価	外部有識者からの意見	
1	大正浪漫漂う郷土館ロケーション魅力UP事業	郷土館(旧平賀家住宅)の外壁の再塗装や建具の調整等といったリニューアルを行い、重要建造物の保存と価値の向上を図る。 同施設のリニューアルに合わせ、来訪者等の増加への対応と来訪者の交通便利の向上を図るため、隣地に駐車場を整備し、魅力スポットとしての付加価値の相乗的な向上を図る。	○旧平賀家住宅リニューアル工事費 ○郷土館駐車場整備工事費	○郷土館(旧平賀家住宅)リニューアル、駐車場整備工事の実施	様々な地域資源、観光資源を活用した観光まちづくりの具体的推進 郷土館でのカフェや各イベント実施の検討	指標	郷土館収益額(入館料、施設使用料の合計)	1,248千円	1,648千円	1,063千円	総合戦略のKPI達成に有効であった	郷土館の魅力の向上を図るため、旧平賀家住宅リニューアル工事と駐車場整備を行ったが、今後は施設の魅力をもPRし、にぎわいにつながる事業を展開する必要がある。

## 結婚新生活支援助成補助金

NO.	交付対象事業の名称	概要	支出内容	主な取組内容及び成果	今後の課題及び方向性	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				外部有識者からの評価		
						指標	基準値 (H27)	目標値 (H32)	実績値 (H29)	事業の評価	外部有識者からの意見	
1	川西市結婚新生活支援助成制度	若年世帯の結婚新生活を応援するため、敷金・礼金といった住居費及び引っ越し費用を助成(上限24万円)する。	結婚新生活支援補助金	結婚新生活支援助成制度を創設し、若い新婚世帯の結婚新生活を支援。(実績:32件)	○制度の周知が必要 結婚式場相談窓口におけるPRや不動産関係事業者との連携による幅広い周知の実施	指標	婚姻件数	588件	620件	-	総合戦略のKPI達成に有効であった	若者の結婚への後押しとなる結婚新生活支援助成制度については、今後も効果的にPRする必要がある。

## 地域少子化対策重点推進交付金

NO.	交付対象事業の名称	概要	支出内容	主な取組内容及び成果	今後の課題及び方向性	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				外部有識者からの評価		
						指標	基準値 (H29)	目標値 (H30)	実績値 (H29)	事業の評価	外部有識者からの意見	
1	乳幼児ふれあい体験「赤ちゃん先生プロジェクト」事業	乳幼児と触れ合う体験を通じて、子育てなどに対する理解を深めたり、家族に見守られて成長しているという自尊感情の醸成につなげる。	○NPOへの報償費	○乳幼児とふれあいや保護者の体験談などを聞くことで、命の大切さなどを実感させる取組みの実施。 (参加児童生徒数:2,634人、参加赤ちゃん先生:277組)	○本市の特色を生かした授業の実施や相談体制の構築による学校教育の環境の充実 継続的な交流を図るため、実施対象学年を、学校の実態に応じて市教委、NPO、学校で調整できるよう要項に位置付け	指標	乳幼児に対する関心・親しみ 命の大切さの醸成	80.0%(小) 80.0%(中)	85.0%(小) 85.0%(中)	94.9%(小) 91.7%(中)	総合戦略のKPI達成に有効であった	児童生徒の乳幼児との触れ合い体験については、実績値が目標値を大きく上回り、事業としては有効であると評価できる。今後は参加者や関係者の意見などを踏まえて、事業を進める必要がある。